

選挙の仕組み理解

市選管が 袋井商高生投票を体験 出前授業

袋井市の県立袋井商高

の1年生約160人は14日、市選挙管理委員会の選挙出前授業を同校で受講した。選挙権を得るのの前に選挙の仕組みを理解するとともに投票意欲を高め

た。同市の静岡理工科

生徒は国政選挙や地方選挙など選挙の種類を確認した上で、有権者自らの手で代表者を選ぶ必要性を学んだ。低投票率による弊害についても理解を深め

た。同市の静岡理工科大の学生を立候補者役に見立て、生徒は生徒会会長選挙の模擬投票を体験。「エアコンを設置して学習効果を高める」「学校行事は自由参加にして参加意欲

を高める」などの「政策論争」に耳を傾け、実際に市選管の選挙で



模擬投票を体験する生徒。袋井市の県立袋井商高

使用されている投票箱に1票を投じた。

石川こまりさん(16)

は「自分の1票が選挙に影響を与えると考えると、しっかりと候補者を判断しなければという気持ちになった」と振り返った。

(袋井支局・伊藤龍太)